

2021年3月5日

電通、「Spikes Asia 2021」において 「ジャパン・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」などを受賞

アジア太平洋地域最大級の広告祭「Spikes Asia 2021」（スパイクス アジア 2021）の審査結果が3月4日に発表^{*1}され、株式会社電通（本社：東京都港区、社長：五十嵐 博、以下「当社」）は、部門最高賞のグランプリ3つを含む18個の賞を受賞し、各国において最も受賞数が多い単独の広告会社に贈られる Japan Agency of the Year（ジャパン・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞）と Asia-Pacific Agency of the Year（アジア・パシフィック・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞）3位を受賞しました。



<Spikes Asia 2021 における当社ハイライト>

- ・ Japan Agency of the Year 受賞
- ・ Asia-Pacific Agency of the Year において 3 位
- ・ 優れたデジタルソリューションやアイデアを表彰するデジタル部門とデジタル・クラフト部門において、当社と(株)電通デジタル、(株)電通ライブの3社が共同で制作した「“名画になった”海展」（クライアント：(株)横浜八景島）がグランプリを受賞。
- ・ 当社が制作した「しまくとぅば広告」（クライアント：(株)沖縄タイムス社）がプリント&パブリッシング部門でグランプリを受賞。
- ・ 課題解決のための画期的なイノベーションや新しいテクノロジーを活用したアイデアやソリューションを表彰するイノベーション部門において、当社が制作した「Tuna Scope 2020」（クライアント：くら寿司(株)）が Innovation Spike（イノベーション・スパイク賞）を受賞。

- ・ 30歳以下の若手がアイデアを競う Young Spikes（ヤング・スパイクス）において、当社と(株)ジャンボリーによる合同チームがフィルム部門で、また当社と(株)リクルートの合同チームがインテグレート部門で、それぞれゴールドを受賞。

なお、電通グループとしては海外拠点も含めて14の部門で41個の賞（部門最高賞のグランプリ3、イノベーション・スパイク1、ゴールド5、シルバー10、ブロンズ22）を獲得し、最もクリエイティブなネットワークに贈られる Network of the Year（ネットワーク・オブ・ザ・イヤー賞）を受賞しました。

※ Spikes Asia（スパイクス・アジア）は、アジア太平洋地域（APAC）における高いクリエイティビティを讃えることを目的に、毎年シンガポールで開催されている地域最大級の広告祭です。2020年はコロナ禍の影響で中止となり、2021年は審査結果がオンライン上で発表されました。詳細は、Spikes Asia のホームページをご覧ください。

<https://www.spikes.asia/>

以上

【本リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 広報部

松島、田中 TEL : 03-6216-8041

Email : koho@dentsu.co.jp